

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成 30 年度第 6 号 3 月 22 日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinko.hokkaido-c.ed.jp/>

「一年を振り返って、そして卒業に寄せて…」

北海道新篠津高等養護学校長

日向正明

平成 30 年度の一年間を振り返ってみますと、台風や地震、暴風雪等の災害に対する学校の対応が問われた年であったと思います。このような大規模な災害対応においては、「自助」（自らの身の安全は自らが守る）、「共助」（身近な地域コミュニティにおいて住民等が力を合わせて助け合う）、「公助」（行政による災害対策）の役割分担を理解することが重要であると言われていきます。いつ起こるか分からない災害について、想定外を想定することの必要性も指摘されています。「自助」力を高め、「共助」したり「公助」を受け入れやすくしたりするために、本校としては、家庭との連携の他に、地域コミュニティとのつながりを更に強化する必要があると考えていることです。



さて、3月9日、第24回卒業証書授与式を、新篠津村の石塚村長様をはじめ、多くの御来賓の方々に御出席をいただき、挙行了しました。私は、式辞のなかで、卒業生に対し四つの願いをしました。1つ目が、「人に対する思いやりの心を大切にし、豊かな人間性を備えた人になってほしい」。2つ目が、「チャレンジ精神をもって、最後まであきらめずに、やり抜く人になってほしい」。3つ目が、「自立した社会人として、社会に貢献できる人になってほしい」。そして4つ目が「社会に出ても学び続ける人になってほしい」という内容です。卒業生の皆さんには、どのような道であっても自分を生かせると思う道を信じて進んでほしいと思っています。そして、いつまでも夢や希望をもち続け、健康で充実した人生を歩んでいくことを願っています。

1・2年生は、3年生の思いを引継ぎ、上級生として学校生活・寄宿舎生活をリードしてほしいと思います。

この一年、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきました保護者の皆様、地域並びに関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。



「卒業式によせて」

3学年主任 三田村 祐二

さまざまな経験を通して、生徒たちは大きく、たくましく育ちました。保護者の皆様には、ここまで育て上げるのに、言葉にできないような御苦労があったのではないかと想像します。本当にお疲れ様でした。そして、おめでとうございます。

生徒たちは、社会に旅立ちました。しかし、まだまだ未熟な若者です。卒業したからと言って突然「大人の判断力」を発揮できるわけではありません。様々な場面で、間違った判断にもとついて不適切な対応をしてしまうこともあると思います。保護者の皆様の支えがまだしばらくは必要です。御支援をよろしくお願い申し上げます。あわせて、卒業までの日々を生徒達と一緒に過ごし、成長を見守り続けていただいた全ての皆様へ、学年を代表してお礼をもうしあげます。



「卒業生を送る会」

生徒指導部 中野 智貴



3月7日に卒業生を送る会が行われました。2月から1、2年生の各学級代表は実行委員として司会進行の練習やプレゼント作り、会場設営の準備を行ってきました。当日は各学年から卒業を祝福する劇や歌を発表し、部活動からも笑いあり感動ありの発表が見られました。

3年生からは新高祭の学年発表「OH HAPPY DAY」の続編となる劇が発表され、改めて「仲間」や「支え合い」の大切さを1、2年生は実感できた劇となったのではないのでしょうか。

卒業生を送る会は、とても温かい雰囲気の中行われ、3年生が退場するときも別れを惜む姿が見られました。先輩たちが築いてきた学校を、今度は後輩たちが受け継ぎ、支え合って生活してほしいです。

「同窓会入会式」

進路指導部 3学年担当 西島 智子

3月5日(火)に同窓会入会式が行われ、無事に24回生が入会しました。その後、毎年恒例の先輩との交流会が行われました。今年は、同窓会長の他に3名の卒業生が講師として来校しました。一般就労の人、移行支援事業所で就労に向けて頑張っている人、移行事業所から一般就労を果たした人、グループホームで生活する人など異なる立場の卒業生に職場や生活の様子について講話をしてもらいました。自分が1年生のときの3年生ということで、なじみのある先輩だったからでしょうか、誰も居眠りせずに真剣に聞いている姿が印象的でした。



「採用・利用内定通知書交付式」

進路指導部 3学年担当 佐藤 治人



現場実習を行った3年生全員に、現場実習先から「採用・利用内定通知書」が学校に送っていただいていた。一人も失敗することなく、自分の希望した実習先に御路が決まりました。その通知書を校長先生から校長室において生徒一人一人に手渡し交付式を行いました。卒業式前の少し浮き足立ったこの時期に、「社会人になる自覚と社会生活への意欲を高める」ことを目的として行いました。生徒は校長室前の廊下に整列したときから既に緊張していましたが、校長先生から受け取り、堂々と自分の目標や決意、学校での思い出などを発表することができました。

転出者・退職者紹介

松岡達也

七飯養護学校へ

新篠津高等養護学校では、保護者の皆様をはじめ、地域の方々からとても大きな応援を頂きました。本当にありがとうございました。また、元気で素直な生徒達に囲まれた2年間は、一緒に泊まった宿泊研修や演劇部など、とても楽しい感動的な思い出となりました。新任地においても頑張ります。ありがとうございました。

香城望

小樽高等支援学校へ

本校在籍の7年間があつという間に感じられました。生徒の皆さんへ「新篠津は、皆さんの長所や個性が最大限に発揮できる学校だと思います。これから、自分の長所を最大限に発揮して、色々なことにチャレンジしてください！！」最後に、本校在籍中に関わった全ての皆様へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

松本真紀江

函館高等支援学校へ

1、2年生のみなさん、進級おめでとうございます。3月9日に卒業した3年生が新しい道に進むのに合わせて、私も新しい土地、学校で働くことになりました。青い空と海に囲まれた函館へ。高校生活はあつという間です。「なりたい自分」へ向けてやるべきことはしっかりと取り組み、楽しい学校生活を送ってください。



濱田幸樹

札幌稲穂高等支援学校へ

新篠津高等養護学校では学級担任をさせていただいたり、舎監として学舎両方から生徒に関わることができたりと、とても充実した毎日を送ることができました。日々、生徒から元気をもらうのと同時に、短時間ではありますが寄宿舍に見えられた保護者の方と挨拶を交わし声を掛けさせていただくことも励みになりました。皆様、お世話になり本当にありがとうございました。

中田宏一

退職

私は、岩見沢高等養護学校、真駒内養護学校、新篠津高等養護学校の3校での勤務となりました。いろいろな生徒との出会いや感動がありました。あつという間に60才を迎え、この春無事退職できる運びとなり、お世話になった保護者や教職員の皆様にはたいへん感謝する次第です。ありがとうございました。



石川淳

退職

平成16年に異動してきました。多くの生徒と出会い、生徒からたくさんのエネルギーを頂きました。この3月で定年退職になりますが、生徒たちのひたむきな姿を脳裏に焼き付け、これから生活していこうと思っています。生徒たちの成長を願い、いつか再会できることを楽しみにしています。保護者の皆様や教職員の皆様には、長い間本当にお世話になりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

後藤博之

任期満了

平成13年に赴任してきて、退職までの16年間とその後再任用で2年間、あわせて18年間勤務させていただきました。長いようで、あつという間の18年間でした。毎日楽しく生徒とともに過ごせたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。長い間、ありがとうございました。

澤野佳春

任期満了

1年間と短い期間ではありましたが、主に1年生の皆さまと一緒に学習することができ、そして皆さまの成を見ることができて、とても楽しい1年間でした。これからも一人一人の目標に向け、思いやりと感謝の気持ちを持ちながらがんばっていきましょう。本当にありがとうございました。

転出者・退職者紹介

杉本 幸治

札幌稲穂高等支援学校へ

12年間過ごさせていただき本当にお世話になりました。木工科、技術科の作業学習で貴重な経験を積ませていただき、学ぶことがたくさんありました。新篠津での経験は一生の思い出です。生徒の皆さんは、一日一日を大切に生きて、充実した人生を過ごして欲しいと思います。ありがとうございました。

島崎 史

札幌高等養護学校へ

お世話になった8年間は毎日笑いにあふれていました。作業学習からも、何気ない日常からも、生徒から教えられることがいっぱいありました。「いれたらこぼれる」そんな疑いもありますが、この学校で学んで成長し続ける皆さんをお手本に、私も頑張ります。ありがとうございました。

成澤 元繁

札幌高等養護学校へ

新篠津高等養護学校に赴任して、たくさんの人と出会い、たくさんの思い出ができ、いろいろな方々に支えられ、感謝の気持ちでいっぱいです。新篠津高等養護学校に勤務できて幸せでした。新しい赴任先でも、生徒のために一生懸命頑張りたいと思います。皆様お世話になりました。

古川 信綱

札幌養護学校へ

4年間大変お世話になりました。4年前、月形高校より赴任してきて「月形より雪が多いのでは？」と驚いたのを覚えています。新篠津高等養護学校で働いたことを次の職場でも生かして頑張っていこうと思います。心温まるいい職場でした。4年間、どうもありがとうございました。

宝沢 潤希

任期満了へ

新篠津で過ごした日々は、とても幸せな時間でした。毎日笑顔であいさつをしてくれた生徒の皆さん、本当にありがとうございました。皆さんの笑顔が私のエネルギーでした。

新篠津でのたくさんの出会いに感謝し、支えて頂いた皆様には、心よりお礼申し上げます。また新たな場所でも精一杯頑張ります。ありがとうございました。

中村 佳世

任期満了

新篠津での3年半は毎日が新たな発見の連続で、たくさんのことを学ばせていただきました。生徒たちの挨拶や笑顔に元気をもらい、成長する姿に刺激を受けました。すてきな生徒の皆さん、保護者の皆さん、村の皆さんとの出会いに支えられ、充実した日々を送れたことに感謝しています。ありがとうございました。

成田 みずほ

小樽高等支援学校

2年間という短い間でしたが、関わった全ての方々に沢山のことを学ばせていただきました。生徒の皆さんは自分の進路実現に向け1日1日を大切に、学校生活を過ごしてほしいなと思います。素直な心、反省の心、謙虚な心、奉仕の心、感謝の心を忘れず、素敵な社会人になってください。本当にありがとうございました。



編集後記

今年度の学校だよりもこれで最終号となりました。一年間、ありがとうございました。来年度もどうぞ宜しくお願いいたします。



